



代表の大坂氏

経営概要

アグリストリート

株式会社AGRI STREET

- ◆代表者・所在地
大坂 宇津実 兵庫県丹波篠山市
- ◆設立
令和3年12月
- ◆経営規模
枝豆（黒大豆）8.5ha、サツマイモ0.8ha
- ◆従業員数
正社員4名、パート・アルバイト3名
- ◆事業内容

丹波黒枝豆などの特産品を中心に栽培し自社生産のサツマイモを加工したオリジナル商品を自社の芋スイーツ専門店で販売している。その他、黒大豆でドレッシング、山の芋でジャムを商品開発する等の6次化に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

経営改善に必要なノウハウを得るために、令和3年度と令和4年度に農業経営・就農支援センター（旧：農業経営相談所）による支援を活用し、法人化、規模拡大、販路拡大、商品開発、6次化に取り組んできた。

現在はリスク分散・利益率向上のために経営の多角化を進め、社内人材育成に注力している。また、令和5年6月に兵庫県下の同世代農家と農業分野での起業や活動をサポートする団体を設立し、経験に基づいた就農前相談や営農計画作成時の情報提供等の、地域農業発展に向けた担い手育成に取り組んでいる。

2 相談内容

農業経営における農作業時間や年間スケジュールの管理方法を改善するためのツールや考え方等について、助言が欲しい。

また、より良いマネジメントのために、カウンセリングやコーチングの手法を学びたい。

3 支援内容

■ 支援チームによる支援計画の策定

さらなる多角化に向け資金繰りの検討が必要であるため、経営戦略会議を実施して資金面の指導・助言などを行うための、支援チームを編成した上で、支援計画等を策定した。

■ 専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、「兵庫県農業経営・就農支援センター」が中心になり、相談者との意見交換、疑問点・課題の整理を行い、その後、中小企業診断士の派遣を実施するとともに、今回の分析や計画を元に、普及指導センターと共に支援を行った。

・資金面や農作業時間の管理方法改善に向けた助言（中小企業診断士）

資金面の現状や相談者の考え方を確認した上で、管理方法や融資に関して助言した。農作業時間等の管理については、現在のスプレッドシートやアプリを用いた方法の改善ポイントや具体例等の助言をした。

・カウンセリングやコーチングに関する助言（中小企業診断士）

カウンセリングやコーチングの基本的な考え方・実施にあたっての留意点を説明し、事例を交えて助言を行った。

支援チーム構成員：

中小企業診断士（コーチング研修修了、指導経験有）
普及指導員



経営者の想いに寄り添い、事業を効果的に活用

■ 支援を受けて・・・

農作業の管理手法やスタッフの意識を効率的に高めるコーチング等への助言が、自社の経営改善に活かされた。

具体的な取組として、特にスタッフとコミュニケーションを取る際には、相手の話を「聴く」こと、相手に対して「質問する」ことを心がけている。

「聴く」ことに関しては、相槌や頷き以外に相手の話を要約することや、繰り返す技法を取り入れている。

「質問する」ことに関しては、相手が考え込み、沈黙が訪れる場合は、沈黙をしっかり守り、相手に気づきを与えることを心がけている。

これらの取組がスタッフの意識を高めることにつながった。

■ 今後の展開

農作業の標準化や予定進捗管理の仕組みづくりによって生産性を向上し、販売流通量を増やす。

6次産業化で「素材の美味しさ」「食の力」をもっと活かし、丹波篠山という観光地を更に魅力的な場所にしていきたい。

喜びの声

農業分野に精通した専門家と出会える機会はあまりなく、どこから適切な情報収集をすべきか模索していたところでした。自社で意識している課題に合った専門家の方とマッチングでき、学びの多い時間となりました。



新規就農者向けにセミナーを行う様子

専属スタッフ所感

相談者は、令和3年度に本事業を活用し、新規就農3年目に法人化を実現しました。

法人化後は、経営改善や販路拡大、6次化について専門家のアドバイスを受けながら、地域ブランドの黒大豆枝豆を基幹作物として、サツマイモ栽培と加工品販売店舗をオープンする等、短期間で経営規模と売上を大きく伸ばしています。さらには、新規就農者支援サロンを起業し、経営の多角化を図っています。

令和5年度は、コーチングの手法を学び、経営者スキルを更に向上させました。

引き続き、本事業とひょうご農業MBA塾等の各種支援策を効果的に展開し、相談者のような次世代を担う農業経営者の育成に邁進していきます。

<支援機関> 兵庫県農業経営・就農支援センター



(公社) ひょうご農林機構外観
(兵庫県農業共済会館)

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】ひょうご就農支援センター

住 所：神戸市中央区下山手通4丁目15番3号

兵庫県農業共済会館3階

公益社団法人 ひょうご農林機構

電話番号：078-391-1222

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

9：30～12：00 13：00～17：00

兵庫県農業を担う若者を育成・確保するための総合窓口として設立され、各普及指導センターや関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。